

各 位

上場会社名 **コーセル株式会社**

代 表 者 代表取締役社長 齊藤 盛雄

(コード番号 6905 東証プライム市場)

問い合わせ先 執行役員 経理部長 高島 大介

T E L 076-432-8149

業績予想数値と実績数値との差異、及び通期業績予想修正に関するお知らせ

2023年11月10日に公表いたしました2024年5月期第2四半期（累計）の業績予想数値と本日公表いたしました実績数値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2023年6月19日に公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I. 第2四半期累計期間業績予想の差異について

2024年5月期第2四半期累計期間連結業績予想数値との差異（2023年5月21日～2023年11月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	21,480	4,236	4,491	3,217	96.96
今回実績（B）	21,602	4,218	4,898	3,539	106.75
増減額（B-A）	122	△17	407	322	
増減率（%）	0.6	△0.4	9.1	10.0	
〔ご参考〕前期第2四半期実績 （2023年5月期第2四半期）	16,331	2,025	2,308	1,624	47.66

2024年5月期第2四半期累計期間個別業績予想数値との差異（2023年5月21日～2023年11月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	16,400	2,900	3,450	2,380	71.80
今回実績（B）	16,588	2,984	3,887	2,869	86.55
増減額（B-A）	188	84	437	489	
増減率（%）	1.2	2.9	12.7	20.6	
〔ご参考〕前期第2四半期実績 （2023年5月期第2四半期）	12,410	1,579	1,914	1,353	39.70

差異の理由

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、インフレの長期化及び欧米諸国での政策金利の引き上げ、それに伴う大幅な為替変動に加え、地政学リスクの高まりによって、世界経済の先行きに不透明感が増し、不安定な状況が継続しています。

このような情勢の中で、当社グループにおきましては、前連結会計年度の後半から部品材料の入手難が改善してきたことを受け、受注残の解消に向けた増産対応を継続した結果、売上高は連結・個別ともに、前回発表予想をわずかながら上回る実績となりました。

利益面におきましては、為替の影響が見込みを大きく上回り、経常利益、四半期純利益については連結・個別ともに、前回発表予想を大幅に上回る実績となりました。

II. 通期業績予想の修正について

2024年5月期通期連結業績予想数値の修正（2023年5月21日～2024年5月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	38,000	5,392	5,472	3,845	113.73
今回修正予想（B）	40,030	6,488	7,301	5,002	150.88
増減額（B-A）	2,030	1,096	1,829	1,157	
増減率（%）	5.3	20.3	33.4	30.1	
〔ご参考〕 前期実績 （2023年5月期）	35,266	4,926	5,273	3,162	93.55

2024年5月期通期個別業績予想数値の修正（2023年5月21日～2024年5月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	28,500	4,135	4,407	3,040	89.92
今回修正予想（B）	30,874	4,934	5,952	4,133	124.67
増減額（B-A）	2,374	799	1,545	1,093	
増減率（%）	8.3	19.3	35.1	36.0	
〔ご参考〕 前期実績 （2023年5月期）	26,771	3,814	4,164	2,430	71.88

修正の理由

今後の見通しについて、新型コロナウイルスによる影響は収束しつつある一方で、インフレの長期化及び欧米諸国での政策金利の引き上げに伴う為替変動やロシアによるウクライナ侵攻、米中対立、パレスチナ紛争といった地政学リスクの影響もあり、世界経済の景気後退への懸念が深まるなど、予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当社グループが属するスイッチング電源市場を取り巻く環境について、半導体製造装置関連においては、需要が調整局面に入っておりますが、今後、生成AIを中心とした社会のデジタル化推進、カーボンニュートラルへの関心の高まりから、回復基調に向かうものと想定しております。

当社グループにおきましては、前連結会計年度の後半から部品材料の入手難が改善してきたことを受け、この下半期においても、受注残の解消に向けた増産対応の取り組みを継続してまいります。

以上のことから、通期の業績につきましては、売上高は連結・個別とも、前回発表予想を上回る見込みとなりました。また、利益面においても、売上高の増加と変動費比率の低下による収益力の上昇により、前回発表予想を上回る見込みとなり業績予想を上方修正いたします。

なお、通期の業績予想の前提となる下期の為替レートについては、1 USドル=140.00円、1ユーロ=153.00円、1スウェーデン・クローナ=13.70円を想定しております。

※業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算出しておりますが、需要動向などの変化、各種通貨間の換算レート変動、株式市場動向など、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、内外環境変化などにより業績予想と乖離することもあり得ますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

以上